

授業科目 公衆衛生学	区分・教育内容		
	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度		
授業担当者 南園佐知子 ロザリン・ヨン (秋田大学大学院医学系研究科)	開講時期	単位	時間数
	前期～中期	1 単位	30 時間
授業の目的 健康の保持・増進のために、社会の中でどのような責務を担ってゆく必要があるのか学び、医療従事者として何ができるのかを考える。			
授業の目標 1. 健康とは何かを説明できる。疾病予防から健康増進に至る理念について説明できる。 2. 諸外国の健康問題、各年代や性別ごとの日本人の健康問題について概説できる。 3. 健康の保持・増進のために必要な自然環境・社会資源を枚挙することができる。 4. 健康の保持・増進のための主な制度や法律、施策を挙げて、その意義を説明できる。			
授業概要 主にスライドを用いて教科書の内容を説明する。			
授業計画(進め方) 1 回目 公衆衛生と歴史 2 回目 公衆衛生の理念・概念 3 回目 公衆衛生のものさし 4 回目 公衆衛生活動のプロセス 5 回目 子どもと保健 6 回目 高齢保健 7 回目 公衆衛生のシステム 8 回目 成人の健康づくり 9 回目 歯科保健・難病 10 回目 健康危機管理と災害 11 回目 感染症 12 回目 学校保健 13 回目 精神保健 14 回目 産業保健 15 回目 環境保健			
テキスト ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障② 公衆衛生 メディカ出版			
参考書・指定図書 公衆衛生がみえる 2020-2021 メディックメディア (必要に応じて)			
評価の方法 筆記試験			